

外国籍の子どもの高校卒業後の「在留資格&進路」フローチャート

START

あなたの在留資格は何ですか？

- ・「永住者」
- ・「日本人の配偶者等」
- ・「定住者」
- ・「永住者の配偶者等」

今もっている在留資格で、進学することも、働くこともできます(どんな仕事もできます)
*永住者でない人は、永住申請がいつ頃できるか、チェックしてみましょう

「家族滞在」

(親が会社員・調理師・経営者など就労系の在留資格)

親に扶養され、親の在留資格にひもづいている

【永住許可申請のポイント】※家族と一緒に申請ができると良い

- ・父又は母が、定められた居住年数の要件をみたしている
 - ・(一緒に申請する場合)家族が最長の在留期間をもっている
 - ・素行要件(在留活動の状況、法令違反等をしていないか)
 - ・世帯の収入額、納税・社会保険(健康保険・年金)の支払状況
- 永住の審査は1年以上かかることもあります 早めに準備が必要です

永住許可申請はできそうですか？

はい

高校卒業による在留資格変更



18歳になる前
日本の高校を卒業
(夜間・定時制・通信制の学校を含む)

*小学校・中学校・高校を卒業

会社から内定をもらう(週28時間を超えて働く) → 「定住者」
・どんな仕事もできます

*中学校・高校を卒業
*高校から入学し卒業

会社から内定をもらう(週28時間を超えて働く) → 「特定活動」
・親の身元保証が必要
・どんな仕事もできません(風俗営業以外)

「特定活動」で5年以上働く → 「定住者」に変更できる!

大学・短大・専門学校に通った期間は、5年以上の期間に含めて良い(日本語学校は除く)

*海外の高校から編入し、卒業

高校に編入した場合: 日本語能力試験(N2)等の合格必要

いいえ

働く

高校卒業後、どうしますか？

「家族滞在」では「資格外活動許可」をとっても週28時間しかはたらけない

勉強したい

進学(大学・短大・専門学校等)

進学

「家族滞在」のまま進学するのは良い

18歳すぎてから入国 または 高校中退など

在留資格を変える必要性はありますか？
例:親が帰国する
例:奨学金をもらう

ない

「家族滞在」の在留資格でそのまま進学する

ある

「留学」に変更する

卒業 → 「働く」

仕事内容によって在留資格が変わる

専門的職業のいくつかは、その在留資格がない
例 調理系(調理師・製菓・パン作り)
美容系(美容師・理容師・メイクなど)
保育士・動物関係・トリマー
医療系(鍼灸・マッサージ師・歯科技工士)

起業する → 「経営・管理」
資本金、経営能力が必要

介護福祉士 → 「介護」
資格が必要

人手不足の特定産業分野の業種 → 「特定技能1号」(通算5年)
(建設業、製造業、外食業、飲食料品製造、宿泊業、介護など)
特定技能1号評価試験・日本語能力試験(N4)等の合格が必要
学歴要件なし・18歳以上

実務経験・特定技能2号評価試験等の合格が必要
→ 「特定技能2号」(在留期限なし)

日本語を必要とする業務 → 「特定活動(46号)」
日本の大学・大学院・短大・高専・一部の専門学校を卒業
日本語能力試験(N1)等の合格が必要
日本語を使い、大学等で学んだことをいかせる業務につく場合
例:外食業・宿泊業の接客、製造業・工場のライン業務、店舗での接客販売、タクシードライバー等

エンジニア・SE・会計・貿易・通訳・翻訳・デザインなど
→ 「技術・人文知識・国際業務」
学術的・専門的知識が必要 学歴や実務経験が必要

弁護士・司法書士・土地家屋調査士・外国法事務弁護士・公認会計士
外国公認会計士・税理士・社労士・弁理士・海事代理士・行政書士
→ 「法律・会計」 資格が必要

医師、歯科医師、薬剤師、保健師、助産師、看護師、准看護師
歯科衛生士、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士
視能訓練士、臨床工学技士、義肢装具士 → 「医療」 資格が必要

「家族滞在」の在留資格の子どもたちへ ～知っておくといいこと～

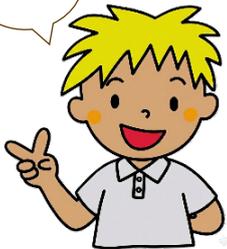


外国籍の人が日本で暮らすためには、「在留資格」が必要です。
在留資格ごとに、どんな活動ができるか決まっています。
もし、あなたが「家族滞在」の在留資格であれば、親の扶養を受けて
“学校で教育を受けること”は みとめられています。
でも、**原則働くことができません**。アルバイトの許可(資格外活動許可)を
受ければ、週に28時間以内なら、働くことができます。
でも、ずっとそのままでは、将来、こまりますね。

日本に長く住む「家族滞在」の子どもたちのために 入管のルールが変わりました！

18歳になる前に来日し、“日本の高校”まで卒業した場合、仕事が見つかったら
働く時間や仕事の内容(活動)に制限がない在留資格「定住者」や「特定活動」に
変更ができるようになりました。**週に28時間を超えて、働くことができます**。
変更するには、**条件**があります。*フローチャートを見てください。

いいね



2024年(令和6年)7月に、さらに良い改正がありました！

「特定活動」の在留資格で5年以上働くと「**定住者**」に変更ができる
ようになりました。この5年間には、大学・専門学校等に通った期間
も含めることができます。(日本語学校は除く)



母国語を活かして通訳や
ツアーガイドさんになりたいなあ！

親に扶養されない自分だけの在留資格に
変えられるんだね。高校卒業を目指すよ！



保育士の在留資格ってあるかな？
フローチャートで確認しよう！

在留資格、変えたよ！
入管の申請は用意する書類が
あるから早めに準備しよう！



あなたの「夢」は何ですか？ フローチャートで、在留資格と進路を考えてみましょう！
わからないとき【神奈川県行政書士会国際部 5か国語無料電話相談】にお電話ください。

☎ 045-227-5560 月・水・金 13:30-16:30

外国人の子ども の ビザ・フローチャート

やさしい日本語

START

あなたのビザは
何ですか？

「永住者」
「日本人の配偶者等」
「定住者」「永住者の配偶者等」

進学することも、働くことも できます
どんな仕事も できます
永住申請はいつできますか？ 見てみましょう！

「家族滞在」
親が、会社員、コック、社長などの子ども

【永住申請】 家族で いっしょに するといいです。 ※ 申請をしてから、1年くらいかかります。

・お父さん または お母さん が 長く日本に 住んでいますか？ ・長い期間のビザがありますか？
・法律を守っていますか？ 税金・社会保険を きちんと払っていますか？

永住申請 できますか？

日本の高校を卒業
⇒ビザを変えることができます！

*小学校・中学校
・高校を卒業

仕事を みつけます
(週28時間を超えて 働く)
⇒「定住者」

・どんな仕事も できます



「特定活動」で
5年以上 働くこと
⇒「定住者」に
変えることができます！

いいえ

はたら 働く

高校を卒業したら、
どうしますか？

「家族滞在」では、
働けません！
「資格外活動許可」を
もらっても
週28時間までです

*中学校・高校を卒業
*高校から入って卒業

仕事を みつけます
(週28時間を超えて 働く)
⇒「特定活動」

・どんな仕事も できます
(バー、スナック、パチンコ店等はダメ)
・親が日本に いること
・途中から 高校に 入ったときは
日本語能力試験(N2)等 に 合格

進学 する

大学・短大・専門学校

「家族滞在」のビザで 進学 できます

進学 する

18歳 すぎて、日本に 来た または 高校を やめた

「家族滞在」のまま
または「特定技能」など
高校卒業 は
大事です！



ビザを 変えたいですか？
親が 国に 帰る
奨学金 を もうしこみたい

「家族滞在」のビザのまま
大学・短大・専門学校 に行く

大学・短大・専門学校等を卒業した後に、働く：
18才になる前に日本に来て、日本の高校を卒業している
⇒「定住者」・「特定活動」へ 変えることも できます！

はい

ビザを「留学」に
変えます

卒業 ⇒ 働く
仕事の内容で
ビザが変わります！

ビザがない仕事があります
例 調理師・お菓子・パン作り・美容師・理容師・メイク・保育士・
動物関係・トリマー・鍼灸・マッサージ・歯科技工士など

社長 ⇒「経営・管理」
※しほん金、けいえいする力が必要

介護福祉士 ⇒「介護」 ※資格

人が足りない仕事 ⇒「特定技能1号(5年まで)」
建設・製造・外食・飲食食品製造、宿泊・介護等
特定技能1号評価試験・日本語能力試験(N4)等に合格
※18歳以上。高校を卒業していなくてもいい

エンジニア・SE・会計・貿易
通訳・翻訳・デザイン など
⇒「技術・人文知識・国際業務」
※勉強した知識・働いた経験

特定技能2号評価試験等に合格 ⇒「特定技能2号(日本に住む期限なし)」

弁護士・司法書士・土地家屋調査士・外国法事務弁護士・公認会計士・
外国公認会計士・税理士・社労士・弁理士・海事代理士・行政書士
⇒「法律・会計」 ※資格

日本語を使う仕事 ⇒「特定活動46号」
日本の大学・大学院・短大・高専・専門学校(一部)を卒業
日本語能力試験(N1)に合格
例: レストラン、ホテル、工場、販売、タクシードライバー など

医師、歯科医師、薬剤師、保健師、助産師、看護師、准看護師、歯科衛生士
診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、視能訓練士
臨床工学技士、義肢装具士
⇒「医療」 ※資格

ざいりゅうしかく かぞくたいざい こ
在留資格「家族滞在」の子どもたちへ

やさしい日本語



にほん す がいこくじん ざいりゅうしかく も
日本に住む外国人はみんな「在留資格」を持っています。

ざいりゅうしかく しゅるい
在留資格の種類によって できることがちがいます。

ざいりゅうしかく かぞくたいざい こ がっこう べんきょう
在留資格が「家族滞在」の子どもは、学校で勉強することができます。

アルバイトの許可をもらえば、1週間に28時間まで働くこともできます。

でも、高校を卒業して会社に入ったら、もっとたくさん働きたいですね。

もっと長い時間、働ける在留資格に変えることができます場合があります。

なが じかん はたら ざいりゅうしかく ていじゅうしゃ とくていかつどう か ひと
長い時間 働ける 在留資格「定住者」や「特定活動」に変えることができる人は：

① 日本の高校を卒業する。② 18才になる前に日本に来ている。

③ 仕事が見つかる。*①②③ ぜんぶがひつよう必要です。

ざいりゅうしかく ていじゅうしゃ とくていかつどう か しごと
在留資格を「定住者」や「特定活動」に変えることができたなら、どんな仕事でも
することができます。なが じかん はたら
長い時間、働くことができます。

*くわしいことは フローチャートを見てください。



いいね



ざいりゅうしかく とくていかつどう ねんじょう はたら
在留資格「特定活動」で 5年以上 働く

ていじゅうしゃ か
「定住者」に変えることができます。

この「5年間」には、大学や専門学校に行った期間も はいります。

にほんごがっこう い きかん
(日本語学校に行った期間は はいりません)

つうやく
通訳 や ツアーガイド になりたいなあ。

こうこう そつぎょう じぶん ちから せいかつ
高校を卒業して、自分の力で生活したいなあ。



ほいくし
保育士になりたいなあ。フローチャートを見よう!



ざいりゅうしかく か
在留資格を変えるためには、
しゅるい ようい
書類を用意して、
にゅうかん だ
入管に出すんだね。



あなたの「夢」は なんです？ フローチャートで、考えてみましょう。

わからないことがあったら、【神奈川県 行政書士会】に 電話 してください。お金はかかりません。

にほんご えいご ちゅうごくご かんが
日本語・英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語で相談できます。

📞 045-227-5560 月・水・金 13:30-16:30

Visa (resident status) flowchart for non-Japanese children

START

What is your visa (resident status)?

- PR: Permanent Resident (Eijusha) (永住者)
- Spouse/Child of Japanese (Nihonjin-no-haigushtou) (日本人の配偶者等)
- Long-term resident (Teijusha) (定住者)
- Spouse/Child of PR (Eijusha-no-haigushtou) (永住者の配偶者等)

You can engage in any type of work (no restriction on working activities*)

「Dependent (Kazoku-Taizai)」 (家族滞在)
(Dependent children whose parent is on activity-based visa)
e.g. a company employee/director, cook, teacher/professor, engineer

Points to note on PR application (永住申請)

Am I eligible to apply for PR?

- My father/mother meets the residency requirements stipulated by the immigration office at the time of application
- We are granted the longest period of stay / visa (as shown in the residence cards)
- We follow the laws of Japan
- We pay all taxes in time (resident taxes, etc.)
- Social insurance (pension and health insurance) has consistently been paid within their respective deadlines in the past

(It takes about 1 year to receive a PR application result. Applicants with dependent visa need to be careful for overwork and follow the work hours permitted by the immigration office)

Are you eligible to apply for PR (永住者)? (applying PR with parent(s))

Yes

You can change your visa (to work fulltime) if you graduate from a **Japanese high school**.



Conditions:
- You came to Japan before the age of 18 and finish Japanese high school
(Evening high school/correspondence-course high school is included)

① Graduate from primary- school (shogakko), middle-school (chugakko), and high school (koko/koutougakko)

② Graduate from middle school (chugakko) and high school (koko/koutougakko)

③ Graduate from high school (koko/koutougakko)

④ Enrolled in Japanese high school in the middle of school year

You can change your visa from "Dependent" (Kazoku Taizai) (家族滞在) to "Long-Term Resident" (Teijusha) (定住者) if you find a fulltime job with work contract
You can engage in any kind of work
You can work more than 28 hours per week by changing your visa to "Long-Term Resident"

You can change your visa from "Dependent" (Kazoku Taizai) (家族滞在) to "Designated Activities" (Tokutei Katsudo) (特定活動) if you find a fulltime job with work contract
*You need your parent to be your guarantor.
You can engage in any kind of work. * (some exceptions apply)
You can work more than 28 hours per week by changing your visa to "Designated Activities" (Tokutei Katsudo) (特定活動)



Working for 5 years+ on "Designated Activities" (Tokutei Katsudo) (特定活動) allows you to change to "Long-Term Resident" (Teijusha) (定住者).
(You may include the period of studying at a uni/college/senmon gakko excluding Japanese language schools (日本語学校) toward the 5-year requirement)

if you are enrolled in Japanese high school in the middle of school year, you have to pass Japanese proficiency (N2), and find a fulltime job with work contract

No

Work

What to do after finishing high school? (Graduating from Japanese high school)

With **Dependent visa** you can work up to 28 hours per week if you obtain a permission to work part-time from the immigration office (official name: Application for permission to engage in activity other than that permitted under the status of residence previously granted/Shikakugai-katsudokyoku in Japanese) (資格外活動許可)

Study

University/College/ Professional Training College (Senmon Gakko)/ Specialized Training College (Senshu Gakko)

You can study with your "Dependent" visa

Study

Becoming a resident of Japan at the age of 18 or older, or dropout of high school

Resident status remains the same as "Dependent (家族滞在)", or "Specified Skill (特定技能)"

More options available if you graduate from high school



Do I need to change my visa if:
- My parents are returning home (to their home country)
- I need to apply for a scholarship

No

Continue studying with "Dependent" visa

To work after graduating from university/junior college/ vocational school:
If you came to Japan before the age of 18 and graduated from a Japanese high school
⇒ You may obtain a resident status of 「Long-term Resident (定住者)」・「Designated Activities (特定活動)」

Yes

Change visa to "Student" (留学)

Graduate from University/College/ Professional Training College (Senmon Gakko)/ Specialized Training College (Senshu Gakko)

Now I want to start "Working"
You need to confirm the visa (resident status) applicable to you. Resident status varies depending on the work you engage

Some professions **DO NOT** apply any of the activity-based resident status of Japan:
e.g. cook, pastry chef, hairdresser, barber, makeup artist, daycare teacher, pet groomer, acupuncturist, massage therapist, dental technician etc.

Company director/Startup
→ "Business Manager" (経営・管理)
You need capital fund and management skill

Certified care worker (KaigoFukushishi)
→ "Nursing Care" (Kaigo) (介護)
You need to pass the national exam

To work in industries facing shortage of skilled workers
→ "Specified Skilled Worker" (Tokutei Gino) (特定技能)
(Construction, manufacturing, restaurant, accommodation/hospitality, nursing care industries) You need to pass the following:
① Skills exam ② Japanese language test (Japan Foundation Test for Basic Japanese or Japanese Language Proficiency Test N4 or higher)
*Important note: "Specified Skilled Worker-(i)" visa is issued on an annual basis and up to 5 years

System engineer, accounting, translator/interpreter, trading
→ "Engineer/Specialist in Humanities/International Services" (技術・人文知識・国際業務)
For those who graduated from university/college/professional training college with expertise/skills

Skills exam → "Specified Skilled Worker" (Tokutei Gino-2) (特定技能2号)

Lawyers, Certified Public Accountants, etc.
Activities to engage in legal or accounting business which require a license to practice in Japan → "Legal/Accounting Services" (法律・会計)
You need to pass the national exam

Work that requires Japanese language proficiency
→ "Designated Activities" (item-46) (特定活動46号)
For those who graduated from Japanese university/graduate school/college/technical college/some vocational school and passed Japanese-language proficiency test N1
To engage in a job that requires Japanese proficiency (Japanese skill required for the job) with work duties relating to what you have studied at school.
e.g. Restaurant, hotel, taxi driver, factory work

Physician, dentist or registered nurse, etc.
Activities to engage in medical treatment services which require a license to practice in Japan → "Medical Services" (医療)
You need to pass the national exam

For Children on the "Dependent" visas (status of residence) - What You Should Know



Every foreign national needs to have a "status of residence" to live in Japan. Many people often use the term "visa" when referring to the "status of residence" in Japan (e.g. dependent/student/working visa); we intentionally use the word "visa" instead of "resident status" here. The "visa" specifies what kind of activities the holder is allowed to engage in. (In other words, there are restrictions on your activities in Japan depending on the visa you have). If you hold a "Dependent" visa, you are allowed to receive an education at school under the support of your parent(s).

You are not allowed to work on Dependent visa. You may, however, work up to 28 hours per week if you obtain a permission for part-time work ("Shikakugaikatsudo Kyoka": Permission to engage in activity other than that permitted under the status of residence previously granted) from the immigration office.

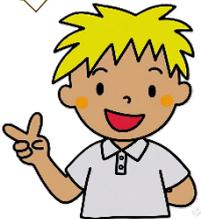
In the long run, staying under the "Dependent" visa even after you become an adult can cause difficulties (because you cannot work full time on Dependent visa)

Change of the immigration rules for children on the "Dependent" visas who have lived in Japan for a long time.

You can apply to change your visas to "Long-Term Resident" or "Designated Activities" that allow you to work without restrictions on working hours or the type of work you can engage in if you meet the following requirements:

- That you came to Japan before you turn 18 years old
- That you graduated from a Japanese high school
- That you have secured a job

Great!



In July 2024, an additional positive revision was introduced.

If you work for more than five years under the "Designated Activities" visa, you can apply to change your visas to "Long-Term Resident."

You may include time you spend for attending a university, vocational school, or similar institution (excluding Japanese language schools) into the five-year period.



I want to make use of my native language and become an interpreter/translator or tour guide.

You can change to a visa that does not depend on your parents' support. I am determined to graduate from high school.

Is there a visa for childcare workers (hoikushi)? Let's check the flowchart.

I changed my visa. Immigration procedures require specific documents, so start preparing early.



What is your dream? Let's think about your visa options and future path using the flowchart.

If you are not sure of the visa descriptions, please call free multilingual telephone consultation service run by the Kanagawa Administrative Lawyers Association, International Division.

☎ 045-227-5560 Monday, Wednesday(English), Friday 13:30-16:30

外国籍孩子高中毕业后的“在留资格与升学就业”流程图

起点

您的在留资格是什么？

- 永住者
- 日本人配偶等
- 定住者
- 永住者配偶等

以目前的在留资格，您既可以继续升学，也可以工作。
工作内容不受限制。

如果您不是永住者，请确认一下什么时候可以申请永住

“家族滞在”
(父母为公司职员，厨师，
经营者等就劳在留资格)

“永住许可申请的要点” ※最好能和家人（父亲或母亲）一起申请
· 父亲或母亲已满足日本居住年限条件
· 和家人一起申请时，家人持有最长的在留期间
· 符合品行条件（在留状况良好，无违反法律法规的记录等）
· 家庭的收入情况，纳税、社会保险（年金、健康保险）的缴纳情况
审查时间有时需要一年以上，所以要尽早开始准备。

您的条件是否符合
申请“永住”呢？

是

否

工作

高中毕业后，
想做什么？

如果是“家族滞在”
在留资格，即使有“资格外活动许可”，
一周也只能工作
28个小时

升学

在日本高中毕业后，
变更在留资格



在18岁之前来到日本，
并且在日本高中毕业
(包括夜校，定时制，
通信制学校)

在日本毕业小学、
中学、和高中

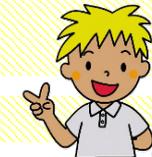
在日本毕业中学和高中
或者
从高中入学后毕业

从海外高中转学到
日本高中，并毕业

拿到公司的录用通知
(一周工作时间超过28小时)

→ 可变更为“定住者”
· 工作内容不受限制

真棒！



拿到公司的录用通知
(一周工作时间超过28小时)

→ 可变更为“特定活动”
· 需要父母做为身元保证人
· 工作内容不受限制
(不包括风俗行业)

以“特定活动”在留资格
连续工作满
5年以上
→ 可变更为
“定住者”！

在日本的大学、短大
及专门学校的就学期间
可计入5年期间
(不包括日语学校)

升学 (大学、短大、专门学校)

以“家族滞在”
的在留资格可以
继续上学

升学

过了18岁到日本来或高中辍学等

维持“家族滞在”或
变更为“特定技能”等
选择符合自己的学历，
年龄等条件的在留资格

高中毕业
非常重要！



有必要变更在留资格吗？
如：父母回国
如：孩子想申请奖学金

没有

以“家族滞在”的在留资格继续
上学

毕业于日本的大学，短大，专门学校等后就业时：
如果在18岁之前来到日本，并在日本高中毕业，
⇒可以申请变更为“定住者”或“特定活动”在留资格

有

在留资格变更为“留学”

毕业 → “工作”

根据工作内容，
需要相应的在留资格

有些专业职业，没有其对应的在留资格
如：烹饪（厨师，制作糕点，面包）
美容（美容师，理发师，化妆师等）
保育师，动物关联，动物美容师
医疗（针灸，按摩师，牙科技师）

创业 → “经营·管理”
具备资本金，经营能力等

介护福祉士 → “介护”
需要相关资格证

从事于劳动力不足的特定产业领域行业的工作
→ “特定技能1号” (总共5年)
(建筑业，制造业，餐饮业，食品制造，住宿业，介护等)
要通过“特定技能1号评价考试”和“日语能力考试 (N4)”
没有学历要求，18岁以上

口译，翻译，会计，贸易，设计，工程师，系统工程师等
→ “技术·人文知识·国际业务”
要求较高的学问，专业知识的在留资格。需要学历或相关业务工作经历

需要具备相应的工作经验，并通过特定技能2号评价考试
→ “特定技能2号” (没有期限限制)

律师·司法书士，土地房屋调查士，外国法律事务律师，公认会计士，
外国公认会计士，税理士，社会保险劳务士，专利律师，海事代理，
行政书士 → “法律·会计” 需要相关资格证

从事要求日语能力的工作 → “特定活动 46号”
毕业于日本的大学，大学院，短大，高等专门学校，一部分专门学校
并通过日语能力考试 (N1) 等。
从事使用日语并能发挥在大学等所学知识的工作。
如：餐饮业、住宿业的客户服务，制造业、工厂流水线作业，
店铺的客户销售，出租车司机等。

医生，牙科医生，药剂师，保健师，助产士，护士，准护士，
牙科卫生士，诊疗放射线技师，物理治疗师，作业治疗师，
视力训练师，临床工学技师，假肢矫形师 → “医疗” 需要相关资格证

持有“家族滞在”在留资格的孩子们 关注一下好消息!



一个外国人想在日本生活，必须拥有一种日本的“在留资格”。

每一种在留资格都有规定其活动内容。

如果你的在留资格是“家族滞在”，你可以受父母抚养之下上学，在学校接受教育。可是，这个“家族滞在”的在留资格原则上是不能工作的。

如果想打工需要申请“资格外活动许可”，每周只允许打28小时的工。

不过一直以家族滞身的身份生活下去，会对将来有很多忧虑和麻烦的。

对长期住在日本的“家族滞在”的孩子们，入管局有了新的规定!

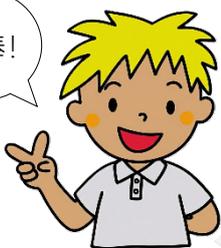
到18岁之前来日本，在日本高中毕业之后找到了就职单位，就能把在留资格变更为“定住者”或“特定活动”。

拿到“定住者”或“特定活动”在留资格，就不受工作时间和工作内容的限制。

一周可以做超过28小时的工作。

变更在留资格需要满足一定的条件。请查看流程图。

真棒!



在2024年(令和6年)7月，进行了进一步改订。

以“特定活动”的在留资格工作满5年以上，可以申请变更为“定住者”。

这5年期间可以包含就读大学、专门学校等的期间(不包括日语学校)



我想发挥母语优势，成为翻译或导游。

原来可以变更为不靠父母抚养的在留资格啊。我要争取高中毕业!



有当保育园老师的在留资格吗?
能尽早考虑自己的将来，确认一下流程图吧!



我改了自己的在留资格了，很高兴知道这个新制度，申请变更需要准备相关材料，所以要尽早开始准备!



你的“梦想”是什么? 请用“申请流程”再三考虑一下你的在留资格吧!

如有不明白的，请打“神奈川县行政书士会国际部 五国语免费电话咨询”电话

☎ 045-227-5560 星期一，星期三，星期五(中文) 13:30-16:30

